

大滝ダムの建設

大滝ダムは、昭和34年の伊勢湾台風(台風15号)の紀の川沿川における甚大な被害を契機に計画されました。

事業の目的

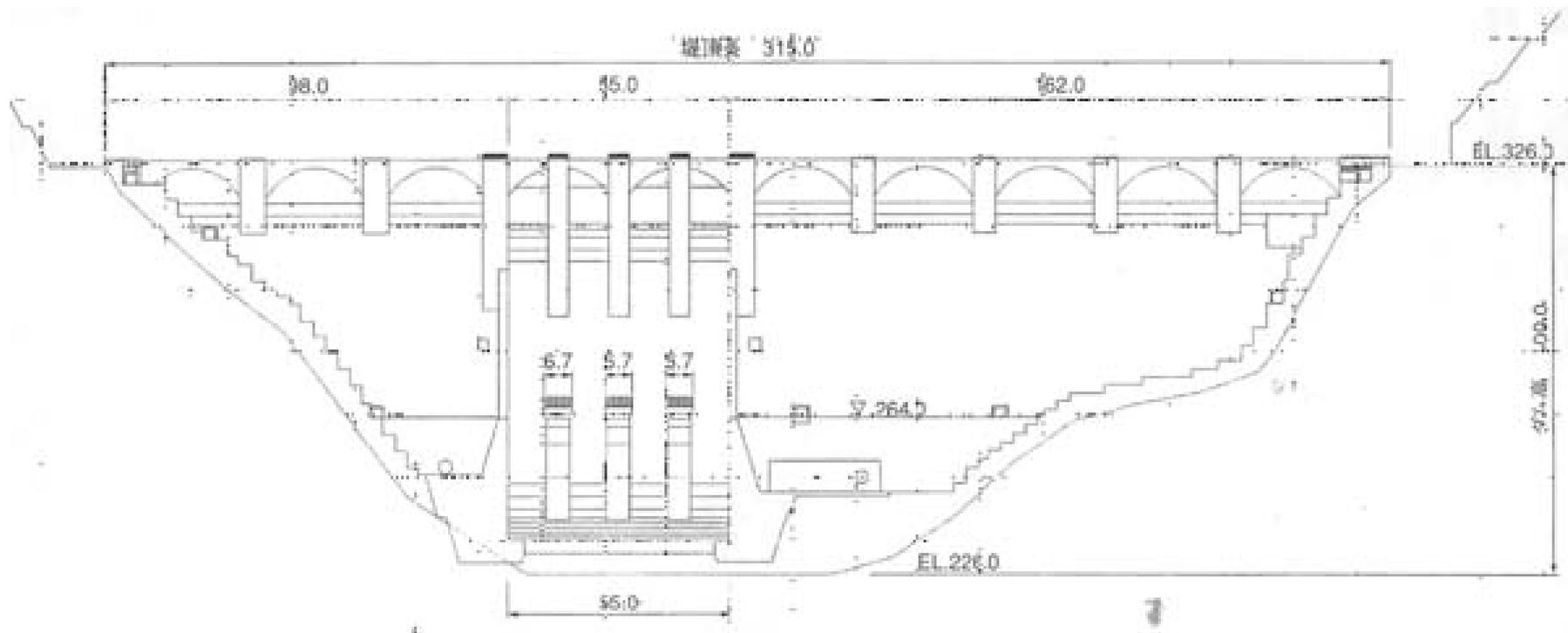
- ①洪水調節
- ②流水の正常な機能の維持
- ③水道用水等の供給
- ④発電

ダム及び貯水池諸元

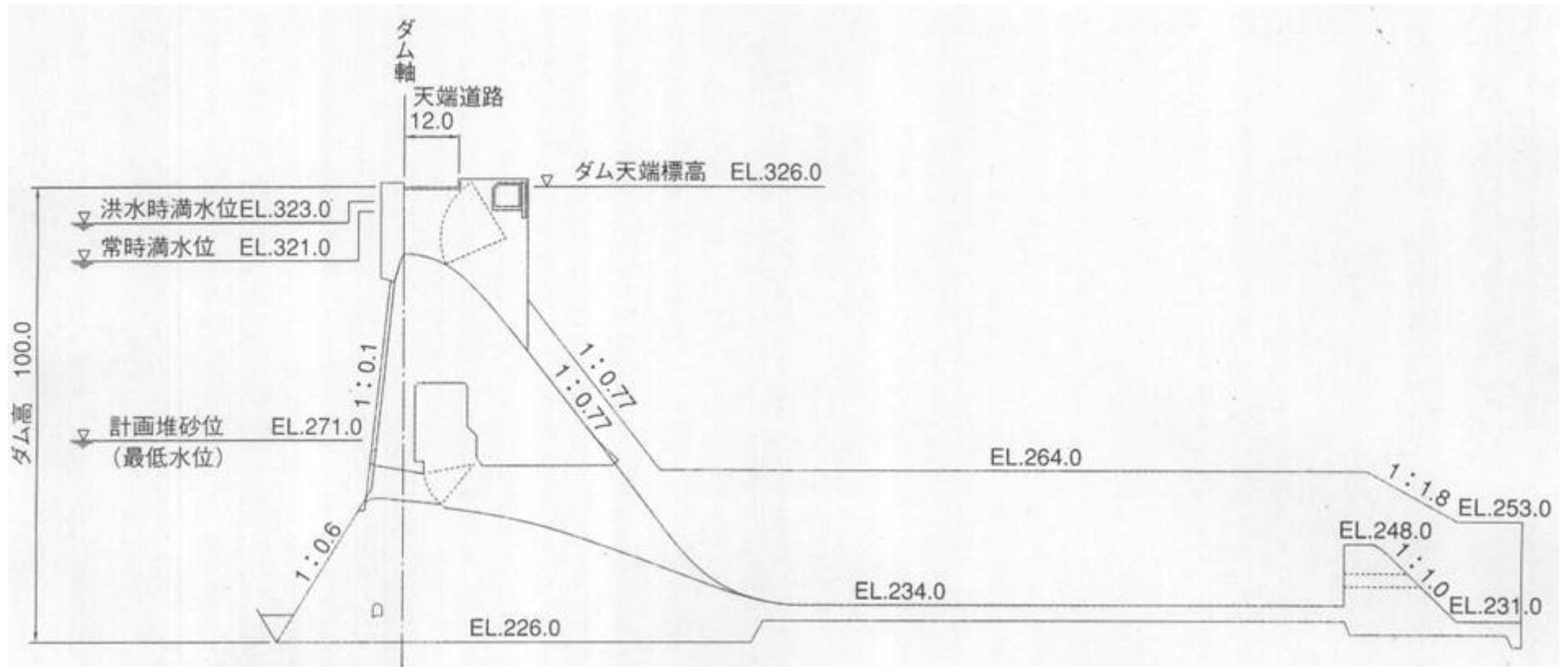
位置	左岸 奈良県吉野郡川上 村大字大滝地内 右岸 //	非越流部標高	EL. 326. 0m
河川名	紀の川水系 紀の川	サーチャージ水位	EL. 323. 0m
集水面積	258km ²	常時満水位	EL. 321. 0m
湛水面積	常 時 2. 44km ² 満水時 2. 51km ²	第一期制限水位 第二期制限水位	EL. 302m(6/16~8/15) EL. 290m(8/16~10/15)
総貯水容量	84, 000, 000m ³	計画高水流量	5, 400m ³ /s
堤体積	1, 030, 000m ³	計画最大放流量	2, 700m ³ /s
ダムの型式	重力式コンクリートダム	基礎岩盤地質	砂岩、粘板岩、輝緑凝灰岩
堤高	100m	放流設備	コンジット;3門、クレスト;4 門、選択取水設備、水位維 持放流管
堤頂長	315m	平成13年度事業費	180億円
湛水延長	15. 5km	完成予定	平成14年度末

設計図

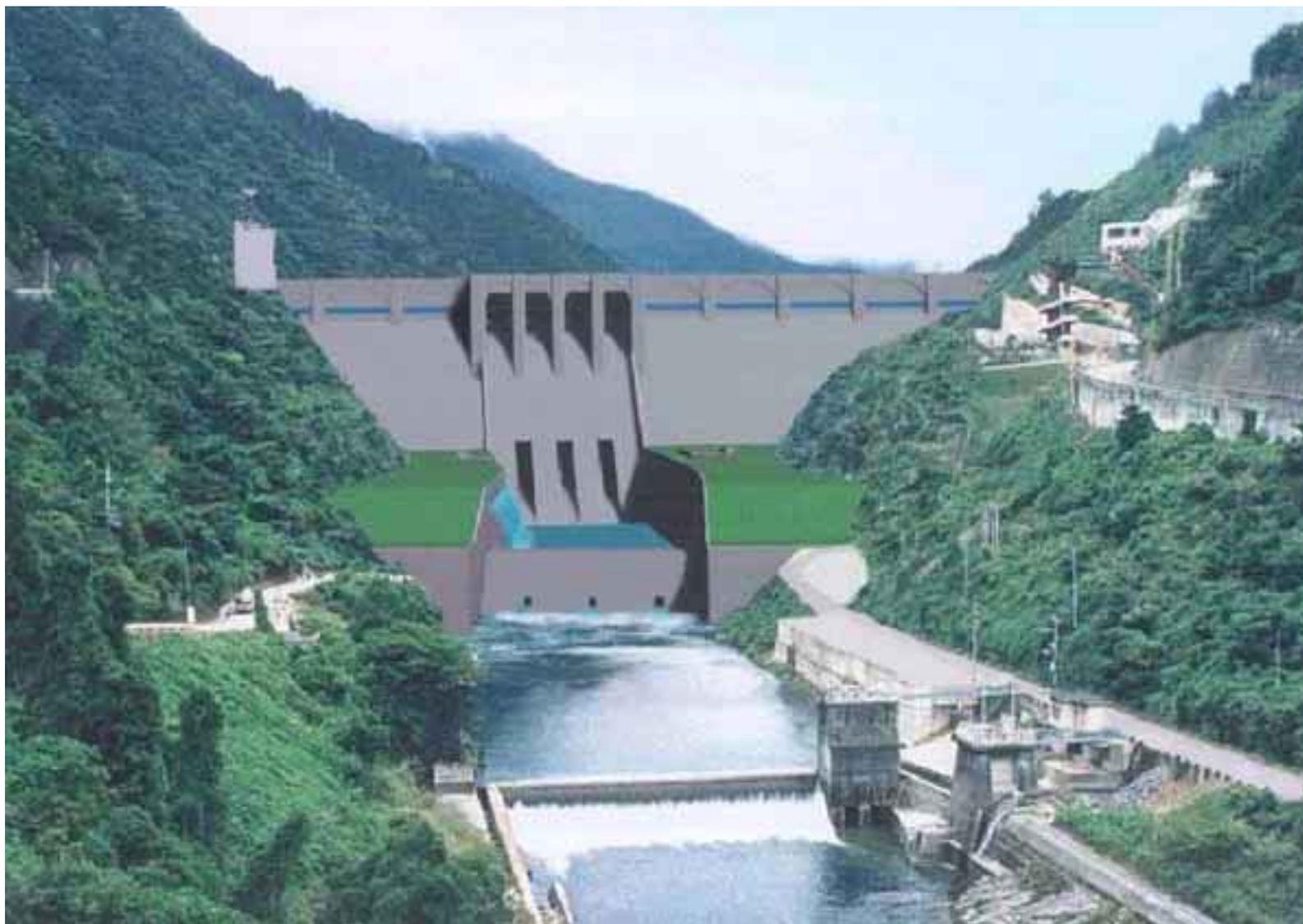
■ 堤体下流面図



■ 堤体断面図



完成予想図 下流より大滝ダムを望む



完成予想図 左岸より大滝ダムを望む

